



Sapporo
education and
culture hall
news

fūaku

62

Interview

弦楽四重奏と能が織りなす新たな世界



一弦楽四重奏とはどういうもので すか

— オーケストラとの違いはなんですか

音楽高
部器楽
究科修
協会設
弦楽四
一ガ]を
地方高
三、北海
ストラな

室内楽の一種で、ヴァイオリン2本・ヴィオラ・チェロという、それもこれ担当の音域がある弦楽器4本で演奏する形態です。混声合唱の弦楽器版とイメージしてもらうとわかりやすいかもしませんね。合唱は音域によってパートが分かれていますが、弦楽四重奏も同じようにそれを楽器ごとに担当する音域があります。魅力はなんといっても弦楽器といふ同じ種類の楽器で奏てるからこそ生まれる音の調和ですね。使える音数も少なくミニマムな世界なのですが、そこから生まれる表現は無限大です。作曲家たちにとつてはその中でどうやって表現したい世界を作らなければなりません。だから繊細なものまで沢山の名曲が生れるか挑む人も多く、ワイルドなものもありました。

——今回の企画のお話が来た時はどう思いましたか

「直接の対話」でしようか。オーケストラは指揮者という統率者のもと、大勢で音楽を作り上げます。それに対して弦楽四重奏は4人だけで1つのものを作るので、それを他のイメージを持ち寄り、作りたい世界を話し合いや音で何度も試し、それぞれの内側まで見せて対話しなければいけません。オーケストラに比べて1人にかかるウェイトも大きいです。

Interview 弦楽四 新たな

日本の伝統芸能である能楽と、ヨーロッパ発祥の西洋文化であるクラシック。
それぞれが奏でる「音」に着目して行われる奇跡のコラボレーションイベント
「雅 vol.1 -Miyabi- CLASSIC×NOH－弦楽四重奏と能が織りなす新たな世界－」。
弦楽四重奏を担当するLes pommes²の山本聖子さんに意気込みをお伺いしました。

やっていたお囃子や謡の体験講座に行つたりしていました。実際体験すると譜面があつて拍子が決まっていいる私達の世界と、お囃子が演奏する音楽の世界は、その進め方作り方が全く違つて驚きの連続でした。そんな世界にまさか自分たちも関わる機会があるとは少しも思つてなくして。なので今回は本当にござ縁があつて嬉しいんです。

お話を来た時はすぐさま「やつてみたいですね！」と返事をしてしまいました(笑)メンバーもみんな「えーっ」と驚きながらも受けてくれました。こんな経験ができることは札幌ではまずないと思うので色々な意味で楽しみにしています。

調の第1・第2楽章と能樂のお雛子が一緒に演奏する予定です。その音楽に合わせて天女をイメージした舞もあります。今まで誰も観たこともないステージになると思うので私達も今から楽しみです。

弦楽四重奏は直接の対話と言いましたが、今回は弦楽四重奏を1人としてお能と対話する形になるのかなと思ってて。両方の楽器がその場で鳴っているなんて、きっと繋張感のあるものすごい空間です！会場に来ていただかないとその空気感は味わえません。私たち含め誰にとっても未知の体験になると 思います。

能はちょっと敷居が高い印象を持たれています。逆もまた然りで、お能を観る方にとってもクラシックは敷居が高いのではないかと思うことがあります。みんな皆さんにとって今回の公演はお能を楽しみながらクラシックを楽しめる本当に貴重な機会かと思っています。

会場である札幌コンサートホールKitaraでは教文に負けじと良い企画が沢山あります。教文やKitaraにわざと足を運んでもらうことへ繋がるきっかけになつてください。

Kitaro | 札幌市教育文化会館 連携プロジェクト 雅 vol.1 -Miyabi-

CLASSIC×NOH

室内アンサンブル | Les pommes² (レ・ポムポム)

[第1ヴァイオリン]
山本 聖子

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業、同大学院修士課程修了。フィンランド国立シベリウス音楽院留学。札幌市民芸術祭奨励賞を新人音楽会とTerra<テラ>弦楽四重奏団「ショスタコーヴィチ作曲弦楽四重奏曲全曲演奏会」シリーズにて受賞。室内アンサンブル Les pommes²(レ・ポムポム)主宰。令和三年度 札幌文化奨励賞受賞

[第2ヴァイオリン] 瀧本 志保

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業。札幌市民芸術祭新人演奏会、赤レンガコンサート等多数出演。幅広いジャンルのレパートリーを持ち、アーティストサポートやレコーディング、TV番組、CMの録音等でも活動。2013年サッポロシティジャズ・パークジャズライブコンテストファイナリスト。クリプトン・サンダード・クリエイト賞グランプリ受賞

[ヴィオラ]

昭和音楽大学短期大学部卒業後、同大学3年へ編入学。ソロ・室内楽・アーティストのサポート、CMの演奏収録など、道内各地で演奏活動を行っている。室内アンサンブル「Les pommes²（レ・ポムボム）」、弦楽四重奏「BLUE MOON STRINGS」、ヴァイオリン＆ヴィオラDUO「Hacchi」として活動中。札幌音楽家協議会会員

〔チエロ〕

東京藝術大学音楽学部付属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部器楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。在学中、日本シベリウス協会設立15周年記念コンサートにて弦楽四重奏「ヴェゲリウスのためのフーガ」を日本初演。ブローニュ国立地方高等音楽院第3課程修了。現在、北海道を拠点に、室内楽、オーケストラなどでの演奏活動を行っている。





苦しくもありの世界 能面彫りは愉しくもあり

高度成長期、時代のイメージそのままに忙しい社会人生活を送っていた外沢さんだが、ある時重い病気にかかり、療養のためやむなく思い入れのある仕事から別の部署へ移動することに。仕事のやる気を失い家でゴロゴロする日々を見かねた奥様に、何かやりたいことはないかと聞かれ「木いじりならできるかも」と答えたところ、連れて行かれたのが能面教室だった。

能面に関しては素人同然で教室に通う日々。そんなある日、書店で偶然見かけた「別冊太陽 能」の表紙を飾っていた能面「小面」に魅かれ、能面の世界に強くのめり込んだ。老後は能面彫りに集中しようと定年を期に小樽へ移住。小樽市公会堂で毎年開催している個展はコロナを挟みながらも今年で16回を迎えた。

2019年に教文から「能面」と「花」のコラボレーションによる情報誌(※)を作りたいと打診があり、教文の「新しい形で能楽文化を表現しファンを増やしたい」という思いに賛

同し、難しいと感じながらもあえて挑戦。撮影された写真的な出来栄えには関係者一同も感動するほどで、多方面で話題となり新たなファンの獲得を現実のものとした。

外沢さんが能面彫りを続けるモチベーションになっているのは能面の基本形と言われる92種全てを制作することだ。手本としては能楽600年以上の歴史の中で数多く作られた中から、淘汰され今に残った素晴らしい出来の面。その特徴を細部にわたって丹念に確認しながら進めて行く、根気と集中力の維持が必要だ。

どれだけのことをすれば手本の面に近づけることができるのか、自問自答しながら面と向き合い、写しのレベルを高めようと腐心する。そんな能面彫りを、孤独ながらも愉しくもあり苦しくもありの世界だと外沢さんは言う。「私の能面彫りは趣味でスタートしました。それは38年経過しても同じです。だから時間を掛けて熟考することに苦痛は感じません。」そう言って外沢さんは残された時間をマイペースに進んでいく。

能面作家

外沢 照章



術



化



Art
Culture
Human

02

※) act 32-33号



SAPPORO EDUCATION AND CULTURE HALL

KYOBUN TOPICS

TOPICS.1

札幌コンサートホールKitaraとの連携企画で 情報誌でもコラボ記事を実現

札幌コンサートホールKitaraと札幌市教育文化会館のコラボレーション企画で、今号の楽特集記事(1~2ページ)では弦楽四重奏の演奏者インタビューを掲載、Kitara情報誌『Kitara NEWS』では能楽師のインタビュー記事を掲載しています。それぞれの情報誌の取材対象を交換した記事を載せ、合わせて読むと連携プロジェクト CLASSIC × NOHへの期待感がより膨らむ内容となっています。ぜひご覧ください。CLASSIC × NOHは、2023年11月18日(土)札幌コンサートホールKitara小ホールで開催します。詳しくは本誌3ページまたは、教文、Kitaraホームページ等でご確認ください。

Kitara NEWS誌面上では、教文バージョンとは少し違うヴァイオリンと能面のビジュアルを使用しています。



札幌コンサートホールKitaraホームページでは、最新号から過去の情報誌もご覧いただけます。

<https://www.kitara-sapporo.or.jp>

配布場所

札幌コンサートホールKitaraほか、札幌市内の区役所、区民センター、地区センター、図書館、各プレイガイド、地下鉄駅構内等に設置しております。

スマホはこちらから
ご覧いただけます。
Kitara NEWS



TOPICS.2

札幌市図書・情報館との 能楽展2023連携企画を開催

札幌市図書・情報館のご協力により、館内1Fの巨大モニターには能楽展のプロモーション映像が映し出され、2Fには能楽ブースが設けられるなど素敵なコラボが実現。更にトークイベントとして8月5日は能舞台VRの制作者・(株)きたまいかによる「XR技術の可能性」、8月6日は2F黒戯のコンテンツに合わせて観世流シテ方・松野浩行氏による「能楽にまつわる怖～い話」がそれぞれ開催され、大きな反響を得ました。

札幌市図書・情報館ホームページ

スマホはこちらから



TOPICS.3

イオン札幌藻岩店にて 能楽コーナーが設置

札幌市南区役所とイオン札幌藻岩店のご協力により、同店内での広報スペースに、能楽コーナーが設置されております。1F掲示板エリア(北側化粧室出入口正面)にはCLASSIC×NOHの告知、そして2F(ブティック ブローディア様隣)では能楽に関する様々なパネルが展示されております。2Fにはチラシや情報誌等のコーナーもございますので、お立ち寄りの際には是非ご覧ください。

イオン札幌藻岩店(札幌市南区川沿2条2丁目1-1 営業時間／9:00～21:00)



※ハロウィンの時期は別な展示が設置される予定でございます。予めご了承ください。